

国際交流・社会貢献の概要

1. 国際交流

<協定相手校>

カセサート大学（タイ）

- ・カセサート大学理学部と長浜バイオ大学バイオサイエンス学部との間における学術交流協定（2004. 11. 7）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学術交流協定（2013. 1. 28）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学生交換覚書（2013. 1. 28）
- ・長浜バイオ大学バイオサイエンス学部とカセサート大学工学部との間における学生インターンシップ覚書（2013. 1. 28）

東北大学（中国）

- ・長浜バイオ大学と東北大学との学術交流に関する協定（2008. 4. 12）
- ・東北大学中荷生物医学与信息工程学院・長浜バイオ大学 覚書（2008. 6. 13）
- ・長浜バイオ大学と東北大学間の「3+1型」学生交流協定（2011. 8. 29）

東北大学（中国）・滋賀医科大学

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010. 8. 8）

*この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

2. 大学間連携

<協定相手校>

滋賀医科大学大学院医学系研究科

- ・戦略的大学連携支援事業の共同実施に関する協定（2008. 9. 24）
→ 平成20年度文部科学省「戦略的大学間連携支援事業」採択
- ・滋賀医科大学と長浜バイオ大学との教育研究の連携協力に関する協定（2009. 2. 16）
- ・滋賀医科大学大学院医学系研究科と長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科との間における特別研究学生交流協定（2010. 4. 1）

滋賀医科大学・東北大学（中国）

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010. 8. 8）

*この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科

- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科とのバイオサイエンス分野における相互協力に関する包括協定（2010. 9. 1）

- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科との間における「特別研究学生」の受入れに関する協定（2014. 6. 17）

北海道大学理学部

- ・公開臨海臨湖実習に関する協定（2011）

立命館大学

- ・立命館大学と長浜バイオ大学との教育研究連携に関する覚書（2007. 2. 1）

滋京奈地域産学協働連携協議会（2015. 4. 1）

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマA】
「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」（2012-2014）

滋京奈地域インターンシップ推進協議会

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
「滋京奈地域における産学連携インターンシップ等による人材育成」（2014-2015）

* 文部科学省の補助事業終了後の後継事業組織として、上記2協議会を発展的に統合し、以下の滋京奈地域人材育成協議会を発足しました。

滋京奈地域人材育成協議会（2016. 7. 1）

【連携大学】滋京奈地域16大学

滋賀大学、奈良女子大学、滋賀県立大学、京都府立大学、奈良県立大学、聖泉大学、京都外国語大学、京都学園大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学、京都文教大学、龍谷大学、帝塚山大学、天理大学、奈良佐保短期大学

【連携した産業界等】

公益社団法人関西経済連合会、経済産業省近畿経済産業局、関西広域連合、長浜商工会議所、彦根商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、京都商工会議所、京都経営者協会、一般社団法人奈良経済産業協会、奈良商工会議所、奈良県中小企業団体中央会

3. 高校大学間連携

<協定相手校>

近江兄弟社高等学校

- ・長浜バイオ大学と近江兄弟社高等学校との高大連携事業に関する協定（2010. 12. 14）

岐阜県立岐阜農林高等学校

- ・長浜バイオ大学と岐阜県立岐阜農林高等学校との高大連携事業に関する協定（2011. 3. 30）

滋賀県立虎姫高等学校

- ・長浜バイオ大学と滋賀県立虎姫高等学校との高大連携事業に関する協定（2013. 3. 21）

<連携講座の実績（リンク）>

2015年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=9670>

2014年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=7593>

2013年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=926>

2012年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=885>

2011年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=671>
2010年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=493>
2009年度 <http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=471>

4. 企業との教育研究に関する連携

<協定相手企業>

タカラバイオ株式会社

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学とタカラバイオ株式会社との教育研究に関する協定 (2013. 2. 18)

長浜信用金庫

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学と長浜信用金庫との産学連携基本約定 (2006. 10. 4)

長浜商工会議所

- ・長浜商工会議所・長浜バイオ大学連携事業協定 (2010. 2. 1)

大垣共立銀行

- ・産学連携に関する協定 (2013. 12. 17)

5. 産官学連携

長浜サイエンスパークは、2002年バイオテクノロジー関連企業の集積を図ることを目的として46,101㎡の工業団地として整備された。その翌年の2003年4月に長浜バイオ大学は開設し、その中核として役割を担うことが求められた。その後、企業誘致は進まなかったが、2007年の法改正により全ての区画の企業進出が決定し、2012年度に、6区画すべての企業が操業を開始した。

それらの組織として「長浜バイオクラスターネットワーク」が創設され、長浜バイオ大学、長浜市、長浜商工会議所、進出企業が連携を取り「導く（企業誘致）、育てる（インキュベート）、活かす」施策を実行に移し地域経済の活性化を図っている。長浜バイオ大学の研究推進機構は、サイエンスパークの中核として研究シーズと企業ニーズのマッチングを図ってきた。次年度以降も更に地域経済の活性化の役割を担っていく。

<実施内容>

部署やコーディネーター等の配置	2003（平成15）年、産官学共同研究・事業開発センターを部署として設置。2013（平成25）年8月1日、学内の組織改編により、研究推進機構が本業務を担当。本機構のマネージャー職がコーディネーターを兼務し、関連事務職員3名を配置。
-----------------	---

民間との共同研究の環境、情報交換の場	<p>長浜でのバイオ関連産業クラスターの形成・発展を目指し、長浜サイエンスパーク内の本学・企業シーズを活用しながら必要な事業等を積極的かつ機動的に行い、産業振興及び地域振興に活かしていくための産学官連携のネットワーク組織である「長浜バイオクラスターネットワーク」を本学、長浜市、一般社団法人バイオビジネス創出研究会、長浜商工会議所、浅井商工会、びわ商工会ともに2009（平成21）年5月に設立しました。</p> <p>このネットワーク組織の会長を本学の三輪正直学長が務めており、「長浜アグリバイオプロジェクト」、「長浜環境バイオ創出プロジェクト」、「長浜アカデミックサポートチームNAST」など、長浜バイオクラスターの形成と発展をめざすプラットフォームの役割を果たしています。</p>
ベンチャー育成・支援	隣接の長浜バイオインキュベーションセンターに入居のベンチャー企業や本学発ベンチャー等への支援活動。

6. 地域社会貢献

【生涯教育事業への協力】

●淡海生涯カレッジ（長浜校）

長浜バイオ大学は、滋賀県の取り組みである「淡海生涯カレッジ」の実施にあたって、本学教員が講師として参加し、大学施設の提供も行っています。

<2015（平成27）年度本学教員担当講座>

(1) 問題発見講座

回	月 日	時 間	テーマ	講 師
1	6月13日	9:00~12:30	開講式 講演：我々の生活とバイオテクノロジー	教授 蔡 晃植

(2) 実験・実習講座

回	月 日	時 間	テーマ	講 師
10	9月12日	12:30~17:00	DNA鑑定でお酒に強いかわ調べよう！	准教授 佐々木真一

(3) 理論学習講座 土曜特設講座

回	月 日	時 間	テーマ	講 師
12	10月10日	13:30~15:30	骨は環境に応じる	教授 野村慎太郎
13	10月17日	13:30~15:30	魚類を用いた環境問題への挑戦	准教授 池内 俊貴

14	11月 7日	13:30~15:30	脳梗塞と実験動物	教授	永井 信夫
15	11月14日	13:30~15:30	バイオが生み出す魔法の弾丸：抗体医薬	教授	西 義介
16	11月21日	13:30~15:30	植物の進化の陰に細菌あり	講師	今村 綾
17	11月28日	13:30~15:30	酵素について考える ― その歴史から産業利用まで	講師	中村 卓
18	12月12日	13:30~17:00	植物の営みを知ろう 閉講式	教授	蔡 晃植

【理科教育への貢献】

●夏休み子ども科学教室

小中学校の夏季休暇中、滋賀県湖北地区の小中学生を対象とした科学実験教室を大学にて開催しています。身近な材料を用いて工作などを行い、理科への興味・関心を高めることに貢献しています。

日 時：2015年8月8日（土）

内 容：小学生向け実験講座「夏休み！子供科学教室」

実験1「ペットボトルで空気砲を作ろう！」

実験2「不思議な粉で芳香剤を作ろう！」

●バイオサイエンス学部講座

滋賀県教育委員会の依頼により、県立高等学校生徒を対象に実施しました。

日 時：2015年8月3日（月）・8月7日（金）

内 容：「あなたの はじまり」

講 師：野村慎太郎教授、中村肇伸准教授

●長浜市内小中学校理科教員研修会

長浜市および長浜市教育委員会の依頼により実施しました。

日 時：2015年8月26日（水）

内 容：実技講座「顕微鏡を使った生体試料の観察」

施設見学「電子顕微鏡」

●長浜市「土曜学び座」等の受け入れ

長浜市内の公民館が主催する小学生対象の講座で科学実験を行っています。

開催月日	受け入れ講座	内 容
2011年 3月26日	高月公民館「土曜学び座」	教員授業+CELL部のこども科学実験
2011年12月17日	長浜公民館「土曜学び座」	教員授業+CELL部のこども科学実験
2012年 2月25日	六荘公民館「子育てふれあいまつり」	CELL部のこども科学実験
2012年12月 8日	長浜公民館「土曜学び座」	教員授業+CELL部のこども科学実験
2013年 9月 7日	六荘公民館「六荘地区防災フェア」	CELL部のこども科学実験
2013年12月14日	長浜公民館「土曜学び座」	教員授業+CELL部のこども科学実験
2014年 5月24日	長浜公民館「土曜学び座」	自主活動『フララの家』学生のこども科学実験
2015年12月19日	長浜公民館・養蚕の館「土曜学び座」	教員授業+CELL部のこども科学実験

●子ども長浜学

長浜市では、主体的に学ぶ子どもの育成をめざし、体験活動や郷土を愛する取り組みを大切にしたい『子ども長浜学』を実施しています。その一環として本学では、学生による科学実験教室を開催しています。

2016年7月20日

本学を会場に、市内の小学4年生～6年生を対象に学生が「科学実験教室」を開催しました。

【希少生物保護活動】

●田村山生き物ネットワーク

長浜市南部に生息する動植物（特に、希少種のカスミサンショウウオ）の保護を目的に本学教員（齊藤修教授）が呼びかけ住民らとともに2010年11月に立ち上げました。

「田村山生き物ネットワーク」は、長浜市南部田村山周辺の自然と人々の共生を目指すことを目的に、自治会、教育・医療従事者、事業者、行政関係者など地域の幅広い分野の方が連携し、学習会の開催や、カスミサンショウウオが生息する水路の整備、幼生等の保護、保護池の造成などの活動をしています。

これらの活動が認められ、2014年3月には『2013年度しが生物多様性大賞』を受賞しました。同賞は、企業とNPO・地域・行政・学校等の協働による生物多様性のすぐれた活動を表彰することで、生物多様性の視点が社会の各主体に取り入れられ、連携の輪が広がることを目的に、滋賀県と滋賀経済同友会が2013年度に創設したもので、他の2団体とともに今回が初の表彰となりました。

【地域活動への連携・協力】

<学生の地域連携活動>

湖北地域唯一の4年制大学として、市民からは若い学生の活動に期待が寄せられています。クラブ・サークル団体を中心に地域の行事に積極的に参加しています。

また、大学と長浜市民との交流がより広く活発にできるよう、長浜中心市街地での活動拠点として町家キャンパスを設け、「町家会議」を定期的に開いています。

●クラブ活動「CELL部」の「こども科学実験教室」

長浜や彦根の小学校、公民館などから依頼を受けて出張科学実験を行っています。小さな子どもたちに、遊びの要素を交えた科学実験を行い、理科への興味関心を高めることに貢献しています。環びわ湖大学地域交流フェスタ2015で活動奨励賞を受賞しました。

●学生自主活動「Entrance to Science」

町家キャンパスを拠点に、身近な事象を科学（Science）の視点で捉え、地域の方を対象に定期的に講座を開き、学生と市民との交流を図っています。環びわ湖大学・地域コンソーシアムの大学地域連携課題解決支援事業2015「科学（Science）を通じた地域交流」に採択されました。

2015年度の活動

- ・黄色の講義（4月25, 26日）
- ・米川でホテルを愛でる会「ホテル鑑賞会」で出張講義「蚊の科学」（6月14日）
- ・「子ども長浜学」バイオ大学で科学実験 ～科学の入口へようこそ～（7月20日）
- ・黒色の講義（9月12, 13日）
- ・長浜市立南中学校2年PTA「2年親子フォーラム」で科学実験（11月14日）
- ・橙色の講義（12月5, 6日）
- ・環びわ湖大学地域交流フェスタ2015で活動報告（12月19日）
- ・紫色の講義（2月27, 28日）

●学生自主活動「町家プロジェクト」

町家キャンパスを拠点に、学生たちが地域との交流を進めるために立ち上げた自主活動団体です。

2015年度の活動

- ・「とんてんかん in 鍛冶屋」に出店（6月20, 21日）
- ・七夕イベント（7月5～7日）
- ・長浜市立北郷里小学校で科学実験（9月26日）
- ・名城大学理工学部柳沢研究室の町家視察で活動報告（10月29日）
- ・クリスマスリース作り体験イベント（12月23日）
- ・大学コンソーシアム京都「FDフォーラム」で報告（3月6日）
- ・命翔館竣工式&内覧会で活動紹介
- ・スタジオこほく「ヤングナイト」などで学生スタッフとして放送に参加

●長浜青年会議所「湖北都市圏創造構想事業」のプロジェクトに協力

長浜青年会議所「Vision16 社会を創造する人材を育成しよう」に基づく活動に、本学学生がボランティアとして参加しています。

2013年度

- ・「輝らきらジョイントミーティング」（4月～7月）：毎週参加
- ・「サマーキャンプ 秘宝『キジク』を守り抜け！～勇者！！湖北っ子マイスターへの道～」（7/27・7/28）：キャンプに子どもたちのリーダー役で参加
- ・「湖北の成長プロジェクト 次世代エネルギーフォーラム」

2014年度

- ・「ドリームプロジェクト～かがやけ！ぼくたち、わたしたちの夢』：夢を持つ授業の講師として参加
- ・小学校への訪問授業（4月～6月）：長浜市、米原市の12校
- ・「世界一親子で受けたい授業」（7/26）：長浜市南郷里小学校

2015年度

- ・「こども未来プロジェクト～未来へのカギを見つけだせ！！～」に参加（7月25, 26日）

●長浜北小学校PTAへの協力 「わーくワーク北小タウン」に学生が参加

- ・2012年7/21（土）小学生の職業体験授業への協力 「科学者体験教室」を実施
- ・2013年7/20（土）小学生の職業体験授業への協力 「科学者体験教室」を実施
- ・2014年7/19（土）小学生の職業体験授業への協力 「科学者体験教室」を実施
- ・2015年7/23（土）小学生の職業体験授業への協力 「科学者体験教室」を実施

●しごととチャレンジフェスタ「科学者体験教室」（滋賀県、滋賀県教育委員会他）

2015年10/17（土）, 18（日） CELL部の学生が、「科学者体験教室」でケミカルライトの科学実験教室を開講しました。

●「滋賀県ものづくりフェア2015」（厚生労働省、滋賀県技能振興コーナー）

2015年10/17（土）, 18（日） 町家プロジェクトの学生が、「簡単!!科学のものづくり体験教室」でスライム作り教室を開講しました。

●長浜魅力づくりプロジェクト

本学キャリア教育科目の1つで、学生が長浜のまちの人たちの協力により、長浜・湖北の魅力を伝えるイベントを作り上げていくもので、2年次生後期の選択科目。2011年度からはイベント実施を集大成として5カ月間の教育と実践に取り組み、毎年2月に長浜市街地の曳山博物館で市民を前に成果を発表しています。

2010年度

「まちづくり(株)が入居する建物の開発」「大手門通の空き地の開発」「平和堂跡地の再開発」の3つの課題に取り組みプレゼンテーションを行いました。

2011年度

「石けん作り講座～長浜バイオ大学Presents香りが贈る東北へのメッセージ～」

小学生を対象に東北に縁のある香りをつけた石けんを作り、東北復興支援を呼びかけました。

2012年度

「～湖北特産の食材赤カブを使った～カブかぶランチ」 湖北の食材を使ったメニューを考案、長浜市街のレストランでランチメニューとして販売しました。

2013年度

町家キャンパスを会場として、小学生向け科学実験「静電気でビリビリしようぜ！&どうぶつクイズ！」、大人向けワークショップ「フォトワークショップ・黒壁エリアを再発見！」を実施し親子連れ市民を集めました。

2014年度

戦国時代の商人が現代へタイムスリップしてしまったという設定で、指令書をもとに商店街のあちこちに隠されたキーワードを解き、1時間以内に元の時代に戻らなければならない「脱出ゲーム」を実施しました。

2015年度

「地の酒フェスタ+脱出ゲームin長浜」を長浜市中心市街地で開催しました。この取り組みは、平成27年度滋賀県にぎわいのまちづくり総合支援事業に採択されました。

<大学の地域連携活動>

●いきいき健康フェスティバル（NPO法人健康づくり0次クラブ主催）

長浜市、京都大学大学院医学研究科などとともに長浜バイオ大学が後援し、毎年、長浜バイオ大学を会場として開催。本学教員も講演や科学イベントで講師を務め、学生サークルも子ども科学実験や吹奏楽演奏などで参加しています。

●長浜人の地の酒PROJECT

黒壁が企画・プロデュースし、長浜の米農家、長浜の蔵元、長浜の大学生が参加して酒米の田植えから始め、“長浜人が考える美味しいお酒”を作るプロジェクトで5月に発足しました。

長浜バイオ大学は、4年次生3人が地酒づくりを題材として優良酵母の単離同定から品質分析をカバーする卒業研究を行い、2年次生4人は「長浜魅力づくりプロジェクト」として、地域ブランドとしての地酒を全国発信するためのプロモーションイベントを企画・実施しました。

- ・農作業（4月11日）
- ・田植えイベント（5月23日）
- ・酒米生育調査（6月13日、20日）
- ・稲刈りイベント（9月26日）
- ・Shiga's bar 出店（10月3日）
- ・びわ湖環境ビジネスメッセでポスター発表（10月21～23日）
- ・富田酒造見学（11月22日、12月20日）
- ・フォーラム「町家×酒×学生」（10月4日）

<地域行事への参加>

●長浜曳山祭りに曳き手として参加（4月15日）

毎年4月に地元長浜市で開催される長浜曳山祭りには、命洗祭実行委員会と町家会議メンバーを中心とする学生がボランティアで参加し、地域の文化振興に大きく貢献しています。

●長浜ゆかたまつりに参加（7月18日）

長浜の夏の行事として市民に定着している「長浜ゆかたまつり」（長浜商工会議所青年部主催）に、飲食ブース3店の出店を予定していましたが、雨天のため中止になりました。

●田舎暮らしフェスタ2015（11月7日）

ダブルダッチサークルとマジックサークルがステージ出演、町家プロジェクトの学生たちがスタッフとして運営に協力しました。

●その他の地域での行事への参加

- ・長浜市立北郷里小学校「科学実験講座」（9月26日）：町家プロジェクト
- ・南郷里わくわくワーク2015「科学実験講座」（10月31日）：CELL部
- ・田舎暮らしフェスタ2015（11月7日）：ダブルダッチサークル、マジックサークル
町家プロジェクト
- ・木之本ぐるぼ市（11月21日）：WALK、ハンドメイドサークル、CELL部、町家プロジェクト
- ・鉄道を活かした北びわこ活性化フォーラム（12月13日）：学生2人
- ・長浜市環境にやさしい日「科学実験講座」（3月19日）：町家プロジェクト
- ・中学生交流活動「大好き長浜再発見事業」（3月21日）：長浜魅力づくりプロジェクト学生